

## 答申のことば

本審議会は、令和2年8月19日に「第7次尾花沢市総合振興計画」の策定について市長から諮問を受け、中長期的な視点に立ち、本市まちづくりの目標や政策の方向などについて審議を進めてまいりました。このたび、尾花沢市の目指すべき将来像を「このまちでともに生きる しあわせな時を刻む まち 尾花沢」とした基本構想と基本計画を取りまとめましたので、答申いたします。



本市の将来を見据えると、「急速に進む少子高齢化や人口減少社会にどのように対応していくのか」が最も重要な課題です。それらに対応していくためには、人口が減少していく中であっても、持続可能なまちづくりを進めていくことが大切ではないかとの思いから、私を含めて22名の委員で何度も協議を重ねてまいりました。まちづくりアンケートや市民ワークショップ、まちづくり座談会などさまざまな場面を通じて寄せられた市民の意見を踏まえ、どのような取組みが必要なのか議論した結果、本計画は、市民の想いと願いが込められた計画になったと思っております。

先人たちが築き上げた本市の魅力をさらに磨き上げ、次の世代へつないでいくことが、私たちの役割です。そのためには、市民、企業、各種団体がそれぞれの立場でまちづくりに参画し、行政と力を合わせて、引き続き協働のまちづくりを進めていく必要があります。新しい時代の流れを取り入れ、若者の定着と回帰を軸とした持続可能なまちづくりの指針となる本計画は、協働のまちづくりを進めていく上で、大きな役割を担うものだと思います。そのため、本計画を十分に活用し、将来像の実現に向けて取り組まれるよう、期待いたします。

結びに、これまで第7次尾花沢市総合振興計画の策定にあたり、ご協力をいただきました総合企画審議会委員の皆さまをはじめ、関係各位に心から感謝を申し上げ、答申のことばといたします。

令和3年3月

尾花沢市総合企画審議会 会長

笹原 光政

## 発刊にあたって

本市では、平成 23 年 3 月に「元気おばなざわ創造プラン（第 6 次尾花沢市総合振興計画）」を策定し、将来像「夢かがやき 絆でおすぶ 元気創造のまち 尾花沢」の実現に向けて、まちづくりを進めてまいりました。

この間、市制 60 周年を迎え、時代が平成から令和へと変わると同時に新庁舎を開庁し、新たな一步を踏み出しました。このような中、本市を取り巻く社会情勢は日々刻々と変化しており、少子高齢化の進展や頻発する災害、ライフスタイルの変化などに伴って、市民ニーズは多様化してきています。

これらに対応しつつ、将来にわたって持続的に発展できるまちづくりを進めていくため、令和 3 年度から令和 12 年度までの 10 年間の“羅針盤”となる、第 7 次尾花沢市総合振興計画「ひとが活きる みらい尾花沢しあわせプラン」を策定いたしました。

本計画の策定にあたっては、多くの市民の皆さまから貴重なご意見をお寄せいただき、それらを踏まえ、総合企画審議会では各分野の専門的な見地から慎重に審議していただきました。これまで、計画策定に関わっていただいた多くの方々に、心から厚く感謝申し上げます。

これまで、“元気”をキーワードに、市民の皆さまからご協力をいただきながら、活力ある産業づくりや雪に強い都市基盤づくり、元気な地域づくりなどに取り組んでまいりました。新しい計画では“元気な尾花沢”をさらに前進させ、さまざまな場面で誰もが活躍できる環境を整えながら、子どもたちの笑顔と若者の夢が輝き、一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりに取り組んでまいります。そして、市民の皆さまには「このまちに住んで良かった」、市外の方には「あのまちで暮らしてみたい」と思ってもらえるよう、新たな将来像「このまちでともに生きる しあわせな時を刻むまち 尾花沢」の実現を目指してまいります。

市民の皆さまのまちづくりに対する想いに寄り添いながら、新しい時代にふさわしい尾花沢を目指して、先頭に立ち全力を尽くしてまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和 3 年 3 月

尾花沢市長

菅根 光雄

